

【責任者向けプログラム】

2025年度 第1回

サイバースペックス

サイバーセキュリティ企画演習

CyberSPEX

ご案内資料

2025年3月

独立行政法人情報処理推進機構  
産業サイバーセキュリティセンター

*CyberSPEX : Cyber Security Planning Exercise*



# サイバーセキュリティ企画演習 (CyberSPEX) とは



組織のサイバーセキュリティを推進する  
責任者（マネジメント）層として必要な  
**企画立案スキル**を習得するためのプログラムです。



責任者層として  
知るべきサイバーセキュリティの  
知識を獲得



サイバーセキュリティ推進のための  
企画（体制、予算、ポリシーなど）  
スキルを習得



経営層を説得する  
考え方・ロジカルシンキングを習得

## 対象者

社会インフラ・産業基盤に関わる企業（ユーザー/ベンダー）・団体のサイバーセキュリティ推進する

- ・ **責任者（マネジメント）層の方（部課長クラス）**
- ・ **今後、責任者になる方**

# 演習の特徴

?

## 組織のサイバーセキュリティを推進する 責任者として、こんな悩みがありませんか？

- サイバー攻撃やインシデント管理、フレームワーク、BCPの考え方などについて知っておく必要がある
- 経営層から、組織のサイバーセキュリティの企画（体制、予算、ポリシーなど）から提言まで求められた
- 予算の獲得や人材の確保のため上層部との調整や交渉しないといけない



## 責任者として取り組むべきことの全体像や 企画・提言の進め方がわかる！

講義	ワークショップ	提言シミュレーション 演習	元経営者による 講義・アドバイス	ネットワーキング
サイバーセキュリティ企画の前提となる知識をインプット	講義内容を実践 サイバー攻撃を疑似体験	ケーススタディを通じた企画 役員会を想定した提言	経営層の考え方のインプット 実践的なアドバイスとフィードバック	サイバーセキュリティ専門家や社外のセキュリティ担当者との人脈形成

- ◆ 簡単に脆弱性を突いた攻撃をされうること、CSF、経営への企画プレゼン方法など、とても業務に役立つことを習得できた
- ◆ 座学のみではなく、グループワークを交えての演習の為、周囲の人とコミュニケーションを取る機会も増えとても有意義な時間だった
- ◆ いろいろな業界の方と協力して作業を進めることで、いつもの職場、普段の業務では得難い気づきを得られた
- ◆ 答えのない課題を異業種の方たちと一緒に考えることは刺激になり、今後の施策に有効なだけでなく自信にもつながる



講義の様子



戦略提言シミュレーション演習の様子

# 演習内容・スケジュール（予定）

1～2日目【講義・ワークショップ】と、3～4日目【演習】の2回に分けて、計4日間実施します。

1～2日目の学びを踏まえ、自組織の状況や課題を見つめ直した上で、3～4日目に臨んでいただけます。

日時	内容
1日目 5/22(木)	10:00～11:30 想定企業の説明／模擬プラントを用いたサイバー攻撃デモ
	11:45～13:15 サイバーセキュリティとファイナンス
	14:15～17:30 アセスメント手法①アメリカ国立標準技術研究所CSF、CCEを使ったワークショップ IPA「制御システムのリスク分析ガイド」、経済産業省「工場システムにおけるサイバー・フィジカル・セキュリティ対策ガイドライン」を使ったワークショップ
2日目 5/23(金)	10:00～13:15 アセスメント手法②経済産業省「工場システムにおけるサイバー・フィジカル・セキュリティ対策ガイドライン」を使ったワークショップ
	14:15～17:30 セキュリティ企画作戦会議

## 《 課 題 》

3日目 6/5(木)	10:00～11:30 経営者の視点／マネジメント・リーダーシップ
	11:45～13:15 チームとして結果を出し、経営陣から評価を得るリーダーの心得
	14:15～17:30 セキュリティ企画書作成1
4日目 6/6(金)	10:00～13:15 セキュリティ企画書作成2
	14:15～17:30 戦略提言シミュレーション演習

全日 10:00～17:30（休憩1時間） ※全4日間の日程の募集になります。どちらかみの受講は受け付けておりません。

# 講師陣紹介



## 渡辺 研司

名古屋工業大学 教授

- 1986年京都大学卒、富士銀行入行。1997年PwCコンサルティング、その後、IBMビジネスコンサルティングサービスを経て2003年長岡技術科学大学工学部経営情報学科 システム安全専攻 准教授。
- 2010年より名古屋工業大学大学院 社会工学専攻教授・リスクマネジメントセンター防災安全部門長。
- 内閣サイバーセキュリティ戦略本部・重要インフラ専門調査会会長、国土交通省運輸審議会・運輸安全確保部会専門委員、農林水産省食料安全保障アドバイザーボードメンバー、ISO/TC292（セキュリティ・レジリエンス技術委員会）エキスパート、防災科学技術研究所客員研究員、人と防災未来センター上級研究員他を兼務。工学博士、MBA。



## 橋本 芳宏

名古屋工業大学 名誉教授  
ものづくりDX研究所 客員研究員

- 1985年 京都大学化学工学専攻博士課程修了（プロセス制御、運転支援）
- 2011年に経済産業省制御システムセキュリティ検討タスクフォースに参画以来、制御系の安全確保を中心としたサイバーセキュリティ研究に従事。2023年4月より現職。
- 計測自動制御学会プロセス塾講師、SIP重要インフラのセキュリティ人材育成委員 等



## 越島 一郎

名古屋工業大学 名誉教授  
産業サイバーセキュリティセンター  
専門委員

- 1979年4月 千代田化工建設入社。
- 1998年4月 千葉工業大学 准教授・教授。
- 2008年9月 名古屋工業大学大学院 教授。
- 2019年4月より現職。



## 中野 利彦

名古屋工業大学 客員教授  
(日立製作所)

- CSSC 情報マネジメントシステム認定センター (ISMS-AC)
- 内閣官房 重要インフラサービス障害に係る対処態勢検討ワーキンググループ委員 等



## 佐柳 恭威

名古屋工業大学 客員教授  
(クリスタル・メソッドCOO)

- 元外資系証券会社でBCP/BCMを所管
- 地球規模課題対応国際科学技術共同研究推進事業 (SATREPS) 研究員 等



## 佐々木 弘志

名古屋工業大学 客員准教授  
(フォーティネットジャパン)

- 経済産業省 商務情報政策局サイバーセキュリティ課 情報セキュリティ対策専門官
- 経済産業省 サイバーセキュリティ経営ガイドライン改訂委員 等



## 長谷川 弘幸

名古屋工業大学 客員助教  
(中部電力)

- 中部サイバーセキュリティコミュニティ (CCSC)
- 産業サイバーセキュリティ中核人材育成プログラムの第2期修了者
- 日本シーサート協議会(NCA) 等

## 経営経験者

経営層の考え方を講義  
役員会を模した提言シミュレーション演習にて実践的なアドバイスとフィードバック

### 加藤 哲夫

1998年 ソニーアメリカ バイスプレジデント  
2003年 ソニーEMCS株式会社  
マイクロデバイスセンター長  
2006年 ソニーエンジニアリング株式会社  
代表取締役社長  
2015年 TKO代表

琉球大学工学部非常勤講師、名古屋工業  
大学非常勤講師、中央大学 ビジネススク  
ール非常勤講師、東レ経営研究所 特別研究  
員、PHP研究所 ゼミナール講師などを歴任

### 竹内 敬三

2010年 JX日鉱日石エネルギー株式会社  
(現・ENEOS) 取締役副社長  
2011年 鹿島石油株式会社 代表取締役社長  
2013年 鹿島石油株式会社 顧問  
2014年 E&Eリサーチ株式会社 設立、  
同社代表取締役

芝浦工業大学大学院工学マネジメント研究科  
工学マネジメント専攻教授などを歴任

### 高山 巧

2002年 千代田アドバンスト・ソリューションズ  
株式会社社長  
2012年 千代田システムテクノロジーズ  
株式会社社長  
2014年 同社取締役特別顧問  
2016年 株式会社T&Mコンサルティング  
設立、同社代表取締役

産業サイバーセキュリティセンター講師などを  
歴任

# 募集要項



プログラム名	2025年度 第1回 サイバーセキュリティ企画演習 (CyberSPEX : Cyber Security Planning Exercise)
対象者	社会インフラ・産業基盤に関わる企業（ユーザー/ベンダー）・団体のサイバーセキュリティを推進する ・責任者（マネジメント）層の方（部課長クラス） ・今後、責任者層になる方 ※本プログラムは、日本の社会インフラ・産業基盤を守ることを目的に設計されたプログラムです。 日本の社会インフラ・産業基盤に関わる企業に所属し、日本国籍を有することを条件とし、これらを満たさない場合、受講をお断りさせて頂く場合がございます。予めご了承ください。
日時	2025年 5月22日(木)～23日(金)、6月5日(木)～6日(金) 計4日間 全日10:00～17:30（休憩1時間） ※全4日間の日程の募集になります。どちらかのみ受講は受け付けておりません。
場所	愛知県名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学 16号館
受講料	20万円（税込）※受講料には、交通費・食事代は含みません。
定員	20名 ※定員になり次第、募集を締め切らせて頂きます。 最少催行人数は8名です。
留意事項	サイバーセキュリティに係る課題を整理するため、自社の状況をお話しいただくことがございます。 受講者のご判断により、開示できる範囲でご対応ください。 なお、会社の状況等、機微な内容は参加者限りとするため、本演習に参加する受講者、講師、その他関係者には秘密保持誓約書にご署名いただきます。

## 募集期間

2025年度第1回サイバーセキュリティ企画演習（2025年5月22日～23日、6月5日～6日開催）の募集期間は、**2025年5月9日（金）17:00まで**と致します。  
（募集定員に到達し次第、募集を締め切りとさせていただきますので、お早めにお申し込みください。）

## お申し込み方法

WEB上の受講申込書に必要事項をご記入後、メールにてPDFをご送付ください。  
※お申込みいただきましたら、担当者よりご連絡差し上げます。

受講申込書 ダウンロードページ：  
<https://www.ipa.go.jp/jinzai/ics/short-pgm/cyberspex/2025-1.html>

受講申込書 送付先：  
[coe-promo-ap@ipa.go.jp](mailto:coe-promo-ap@ipa.go.jp)



# お問い合わせ先



- 電話： 03-5978-7554（直通）
- 受付時間： 平日 9:30-18:00
- メールアドレス： [coe-promo-ap@ipa.go.jp](mailto:coe-promo-ap@ipa.go.jp)
- 担当者： お申込みに関すること・・・鈴木/奥山  
演習内容に関すること・・・大海/日向

※原則として、納入後の受講料はキャンセルされる場合でも、返金は致しかねますので予めご了承ください。

## 【個人情報の取り扱いについて】

弊機構は、本プログラムの申込のためにご提出頂いた個人情報の適切な管理に努めております。

ご提供頂いた個人情報は、本プログラムを提供するために必要な範囲

（事務処理および講師への当日受講者リストの配布等）で利用させていただきます。

個人情報保護についての詳細は下記URLからご確認ください。

<https://www.ipa.go.jp/privacy/index.html>

# IPA

